

I 東京情報大学の沿革，教育理念・目的

1 沿革

(1) 大学院経営情報学研究科

本学は、昭和63年4月開学以来、社会の求める人材需要に対応すべく教育研究の充実に努めてきたが、高度情報化社会に対応する高度な専門的職業人及び研究者の養成を図るとともに、本学における経営情報学の教育研究の充実発展に資することを目的として、平成4年4月に大学院経営情報学研究科経営情報学専攻修士課程を設置した。本課程では、学際的な性質をもつ「経営情報学」の教育研究領域を充分に開拓し確立させるため、「経営管理」、「経済・会計」、「経営科学」、「情報処理」、「情報理論」の5つの要素領域を設け、それら各領域で実践される教育研究の深化と領域間の相互依存関係により、新たな「経営情報学」領域を見出すことをもくろみスタートした。

また、平成11年4月からは、大学院における6年間の教育研究の成果と経験をもとに、博士前期課程（修士課程）における教育課程を改正するとともに、博士後期課程を設置し、大学院における教育研究体系全体の再編・整備を行い、大学院に対する社会の多様なニーズに応え得る高度の知識・技術を身につけた人材の育成を図ることとした。

具体的には、博士前期課程（修士課程）においては、「経営情報学」の教育研究領域の拡大に対応するための新たな授業科目を開講するとともに、既存の授業科目の統廃合を行い、学部教育改革を発展的に受け継ぐものとして、大学院発足当初の5系列1共通分野という授業科目系列構成から、「経営」、「情報システム」、「社会情報」の3系列と1共通分野の系列構成に改めることとした。これら系列に配当された幅広い授業科目群から主授業科目及び関連授業科目を履修させることにより、学際性・横断性の強い「経営情報学」領域に柔軟に対応し得る人材の育成を図ることとした。

さらに、博士後期課程においては、「経営情報学」領域の骨格であると同時に社会的需要が大きい「経営マネジメント」、「情報システム」、及び「メディア情報」の応用分野において、さらに高度な専門的職業人及び研究者の育成を図ることを目的としている。

(2) 経営情報学部

本学は、来るべき21世紀を見据え、時代の要請する新しい専門的能力と国際感覚、均衡感覚に優れた人材の育成を教育の目的として、昭和63年4月千葉市に経営情報学部のもとに経営学科及び情報学科の2学科を設置し開学した。本学部は、社会科学系の学部として、経営学、行動科学、情報科学、情報処理などを基盤に据えた教育と研究を実践し、専門的職業人の育成に努めてきた。具体的には、経営学科においては、従来の経営学の内容に加え、情報学科との相互乗り入れにより、コンピュータを活用し企業経営に必要な情報を駆使し得る新しいビジネスマンの養成を主眼とした教育研究を実践してきた。また、情報学科においては、経営に参画し得るシステムエンジニアの養成を主眼とし、授業科目の選択に応じては、理工系学部の情報系学科に近い学習も可能となるよう、学科としての教育研究活動を実践してきた。

また、平成8年4月に、いわゆるマルチメディア関連技術と、それが産業構造ひいては社会構造・文化基盤にもたらす変革を国内的あるいは国際的観点から教育研究し、新しい時代の要請に応え得

る人材の育成を目標に掲げた情報文化学科を新たに開設した。さらに、既存の2学科においても、平成9年4月から、それぞれの学科の特質をより旗幟鮮明にした教育課程の改正を行い、昨今の社会状況の変化に積極的に対応した教育研究を、大学をあげてスタートさせたところである。

なお、本学の設置者である学校法人東京農業大学は、本学や平成3年に創立100周年を迎えた東京農業大学をはじめ、7つの教育機関をもつ学校法人として現在に至るが、その始まりは明治24年、明治の元勲榎本武揚が創設した「徳川育英会育英黉」にさかのぼる。総合的な視野から、新しい時代の要請に即した人材の育成を目指した榎本「育英黉」の精神が、時代を超えて東京情報大学にも受け継がれている。

〔年 表〕

1891 (明治 24) 年	徳川育英会育英黉に農業科設置 (東京農業大学の前身)
1925 (大正 14) 年	財団法人東京農業大学設立
1951 (昭和 26) 年	財団法人東京農業大学は学校法人東京農業大学となる
1988 (昭和 63) 年	東京情報大学 (経営情報学部／経営学科・情報学科) 開設
1991 (平成 3) 年	東京情報大学経営情報学部 (経営学科・情報学科) 臨時定員増
1992 (平成 4) 年	東京情報大学大学院 経営情報学研究科経営情報学専攻修士課程 開設
1996 (平成 8) 年	東京情報大学経営情報学部 情報文化学科開設
1998 (平成 10) 年	東京情報大学大学院 経営情報学研究科経営情報学専攻博士課程(後期) 設置承認